

「考査」が返却されます



考査返却を受けて、「出した結果」と「取り組んだ過程」との関係を考えてみましょう。
あなたは、どれにあてはまりますか？

結果 **A** 前年度(※1年生は中学)よりしっかり取り組み、結果を出すことが出来た

- ⇒過程 **1** 「目的意識が明確になった」(特に進路希望)
- ⇒過程 **2** 「新しい学年となり、心機一転、意識して勉強した」
- ⇒過程 **3** 「考査で具体的な評価が決定することを意識した」(3年生は仮評価)

結果 **B** 前年度と同じように取り組んだが、結果を出すことが出来なかった

- ⇒過程 **1** 「前回より考査の種類が増えた」(特に2年生)
- ⇒過程 **2** 「全体的に難易度が上がった」
- ⇒過程 **3** 「周りの意識が向上し平均点が上がった」

結果 **C** 前年度と同じように取り組めず、結果も出せなかった

- ⇒過程 **1** 「考査に対する姿勢(モチベーション)が下がった」(1年生⇒高校合格で満足した)
- ⇒過程 **2** 「諸事情で勉強する時間が足りなかった」
- ⇒過程 **3** 「範囲が短く油断した」(※2,3年生は、今年度から試験の間隔が変わっていますネ)
- ⇒過程 **4** 「気持ちの切り替えが出来なかった」(部活、学祭準備、検定など)

Aは【自己の向上心】、**B**は【現状の厳しさ】、**C**は【勉強自体の価値】が現れています。

今回は考査結果が例ですが、
思うような結果が出なかった後「どう感じ、どう行動するか」が大切です。

これからの自分の【日常の出来事の結果】に対し、
「違う事柄でも共通点は同じ」と心得、「具体的に行動を変える」ことをしなければ、
「似たような結果」は一生続いていきます
(※特に1年生は「中学校の時のやり方で通用したのか？」を考える必要があります)

結果 **∞** 考査結果が良くない=進路希望が果たせない=就職が上手くいかない=楽しく働けない

!!【機会(チャンス)は平等】しかし【機会を変える】【機会をつかむ】には決意(覚悟)と行動(努力)が必要!!

勉強や部活、そして仕事上での【地味で継続性が求められる事柄】は、
自分自身の【決心と納得】か、他からの【罰則と報酬】がなければ実行されない。

※注1: 自分で【決心し納得】して取り組む事が出来ると、少なくとも【二流以上の存在】になれる

※注2: 他からの【罰と褒美】でしか取り組む事が出来ないのは、【三流以下の存在】にしかねない